

テーマ：『 地域教材の活用と家庭・地域との連携を図った環境教育の推進 』

上三川町立 明治南小学校

Tel. 0285-53-0237 担当者： 柴山 洋



■実践内容:

本町では、何年か前から“磯川のひげ沼のホタル”が飛翔するようになりました。そこで、地域教材としてホタルを取り上げ、第4学年の総合的な学習の時間「ホタルプロジェクト」を中心に、ホタルの育成を通して環境教育を推進してきました。児童・保護者・地域の方が協力して造り上げたビオトープにホタルの幼虫やカワニナを放流し、ホタルについて調べたり、ホタルに詳しい講師の先生を招いたりしながら学習を続けました。

■実践成果:

児童は、ホタルの育成を通して環境問題や生命と環境との関わりを身近な問題としてとらえることができるようになりました。また、学校(教師・児童)だけでなく保護者や地域の方の協力を得ながら実践したことにより、学校教育や子どもを取り巻く諸問題に関心を持ってくださる方も増え、家庭や地域の教育力の向上にもつながりました。将来も本校のビオトープで育ったホタルが根付くように、今後も連携して取組を継続していきたいと思えます。

■実践ポイント:

実施に当たっては、児童が調べ学習やホタルの育成をするだけでなく、家庭や地域との連携を図った取組にしたいと考えました。そこで、学校だより等を通じて協力を依頼したり、ホタルやビオトープの様子を知らせたりしてきました。また、保護者や地域の方を招待し、学習発表会で学習成果を発表したり、ホタル放流会やホタル観賞会を開催したりして多くの方に来校いただき、地域づくり・人づくりにもつながりました。